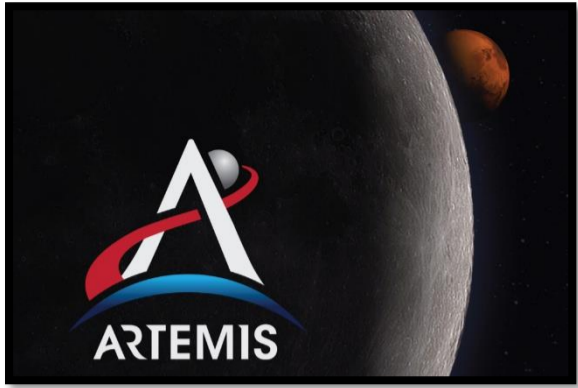


MAENAN SAH Journal Vol.15

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ Oct. 5th, 2023



★JAXA『初の学歴不問』の『宇宙飛行士試験』★

2023年2月28日、日本や米国、欧州などが進める国際共同プロジェクト『アルテミス計画』で半世紀ぶりに月面を歩く可能性がある、2人の日本人宇宙飛行士候補者が発表された。ポルノグラフィティの歌詞にある“ぼくらの生まれてくるずっとずっと前にはもう、アポロ11号は～”のアポロ11号以来の月面着陸を目指すプロジェクトである。1969年7月24日にアポロ11号が月面着陸して以来、人類は月に行っていない、というもなんだか不思議な気がする。



今回で6回目となる『JAXA宇宙飛行士候補者選抜』には史上最多の4,127人が応募した。宇宙飛行士といえば、科学者やエンジニアなどいわゆる『理系』を学んだ人が多いが、今回初めて『理系』縛りを撤廃。『学歴不問』として『文系』に門戸を広げただけでなく、『大学を卒業していなくてもOK』とした。ここまで「ゆるい」基準は世界の宇宙飛行士募集で類を見ない。その効果もあり、応募者が前回の4倍以上となった。2,000倍強の倍率を勝ち抜いた2人とは、『世界銀行上級防災専門官』の諏訪理さん（46歳）、『日本赤十字社医療センター外科医』の米田あゆさん（28歳）だ。『学歴不問』としながらも、実はこの合格者2人はどちらも『東大卒』だったのである。このため、SNS上では『結局学歴か』という声も上がった。だが、安易にそう決めつけると、本質を見誤ると思われる。なぜJAXAが『学力不問』としたのか？これは単純に『学力だけでは駄目』というメッセージが容易に読み取れる。『認知能力』だけではなく、『非認知能力』も大切！ということである。言い換えれば、『認知能力も高い方がよい』が、『非認知能力も高い方がよい』ということだ。これはまさに本校が指定を受けた『SAH』の最上位目標に合致する！

★『宇宙飛行士になるための資質』とは？★

宇宙飛行士に求められる人物像とは？

- 1 国際共同事業、多国籍なメンバーシップのチームの中において、日本の代表として、**多様性を尊重しつつ、ミッションを成功に導くための協調性と十分なリーダーシップ**を発揮できる。
- 2 来たる国際宇宙探査ミッションを見据え、様々な環境に対しても**適応能力**があり、宇宙という極限環境での活動においても、**柔軟な思考と着眼点**を持ち、自らを律しつつ、**適時的確な判断と行動**ができる。
- 3 ミッション参加により得た経験・体験・成果を世界中の人々と共有する**表現力・発信力**があり、それらを活用し**人類の持続的な発展や次世代のために貢献**する。



合格者は決定してしまいましたが、JAXAのHPに募集要項がまだ掲載されているので、内容を見てみた。上の3点と右の8点が記載されていたので紹介したい。合計11点のほとんどが『非認知能力』であり、『認知能力』と思われるのは『右の03』の『STEM分野【Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）の略】の知識』『論理的思考力』『英語力』『専門性』といったところである。また『これらに加え、宇宙飛行士の職務遂行に寄与する傑出した固有の特性を有する場合も評価します』とある。この『傑出した固有の特性』も『非認知能力』だと言える。結果的には『東大卒』が合格したわけだが、『東大生』のなかにも『模試・入試』は得意だが、『答えのない社会課題の解決』や『コミュニケーション能力』が苦手であるという方々も多いと聞く。今回の合格者は『認知能力』が高いのはいうまでもないが、『非認知能力』がズバ抜けて高かった』ということだ。前南生のみなさん、このような『非認知能力』を意識してみよう。みなさんにも『大きな可能性』が隠れているはずだ！

★おまけ★『宇宙兄弟』より★



マンガ『宇宙兄弟』に登場する伝説の宇宙飛行士ブライアン・ジェイの名言を紹介したい。自分が簡単には達成できそうにない『大きな目標』を持ったとき、ただただその目標の大きさに圧倒され、何から手を付けていいのかわからないことがある。ブライアンが言っているのは、『大きな夢を持ったとき、ハードルが高いと考えるのではなく、小さなハードルがたくさんあると考えることが大事だ』ということだ。



『人の人生には、いくつもの”夢のドア”がある。人は例えば「宇宙へ行く」みたいな大きな夢を持った時、目の前に現れたバカでかいドアに萎縮して向う側へ行くことを諦めちゃう。「開けられるわけがない」ってな。だがビビることはないんだよ。本当ははじめから、そんな”バカでかいドア”なんてものはない。小さなドアがいっぱいあるだけだ。”成長のドア””発見のドア””勝利のドア””賞賛のドア”、他にもいろいろ見つかるだろう。そしてその小さなドアを開けるたび、君らの夢が1つずつ叶っていくのがわかるはずだ。手探りでも何でもいい。意地でも次のドアに手を伸ばしつづけることだ。そんなことをしてる間に、気づいたら宇宙遊泳とかしてるかもよ？』みなさんも目の前にある『小さなドア』を開けてみて。また次のドアに手を伸ばし、ただそれを繰り返す。さあ、どこにたどり着けるか、楽しみだ！文責：星野 亨（教頭）

★校長より★

今号をぱっと見て、アルテミス計画（今再びの月へ）だから月面着陸した宇宙飛行士の画か、と思ったらポルノグラフィティと書いてあるので困惑したところ、右下の手が、キムタクが「おい、ちょっと待てよ」と止めていると感じてしまった。多分、私だけだと思うが……。JAXAの宇宙飛行士候補者選抜の門戸が広がった。宇宙飛行士になるための資質11点をみても、学力等の点数がつく資質（認知能力）は少なく、非認知能力が選考に大きく影響する事がわかると思う。『宇宙飛行士の職務遂行に寄与する傑出した固有の特性を有する場合も評価します』とあるので、この先、エイリアンに遭遇したとき、コミュカや戦闘力も必要になってくるかもしれない。皆さんにどんな未来がやってくるのか楽しみだ。

校長 関根 正弘